

# 中国文学サロン

～今流行っている小説をシェアしよう～

講師 総合図書館グローバル・ラーニング・サポーター  
(人文学研究科・M2)

# 概説

中華人民共和国成立からしばらくの間は、毛沢東の『文芸講話』が指導的文献とされ、作品の思想性が重視された時代もあったが、その後は莫言のマジックリアリズムの文学のような純文学とともに、金庸らによる大衆小説や現代文学が大きく花開いた。

# ジャンル

- ・ 武俠 武術に長け、義理を重んじる人々を主人公とした小説
- ・ 玄幻 ファンタジー。なかでは仙俠、修真、その他いろいろとジャンルがわかれる場合もある。
- ・ 科幻 SF
- ・ 言情 男女恋愛小説
- ・ 歴史
- ・ 靈異 怪異、または恐怖の要素を含む小説
- ・ 耽美 BL小説

# 武俠

・香港の新聞『大公報』の娯楽紙面である『新晚報』に梁羽生による『龍虎鬪京華』の連載が始まり、武術や恋愛に重点が置かれ、より視覚的かつ刺激的な内容の新武俠小説は、爆発的な人気を巻き起こした。その中でも突出した人気を誇った金庸、梁羽生、古龍の三人は「武俠小説の三大家」と呼ばれるようになった。

写真は、著作権等に配慮し省略します。

『射鵰英雄伝』

著者 金庸

岡崎 由美 監

金 海南 訳

出版社 徳間文庫

# 玄幻

- ・由来：魏晋南北朝からの志怪小説。中国の神話や伝承で古くから基礎になっている思想は『易経』『老子』『荘子』の三玄を合わせた玄学ということで知られている。それらの思想の上に成り立つファンタジー、ということで「玄幻」と名前がついた。玄学+幻想=玄幻
- ・武侠と仙侠の違い：武侠は武術を強くなるのを目指すが、仙侠は仙人になることを目的にしている。また武侠作品では門派や魔教に属することがほとんどだが、仙侠作品では～宗と呼ばれる組織に所属することが多い。

写真は、著作権等に配慮し省略します。

『斗破蒼穹』

著者 天蚕土豆

出版社 湖北少年兒童出版社

# 科幻 (SF)

・20世紀90年代からブームの兆しが見えはじめ、中国SF作家の旗手ともいえる劉慈欣が2006年に代表作『三体』を発表、その英語訳が、2015年のヒューゴー賞・長編小説部門を受賞したことで、ブームは映画やテレビドラマにまで広がっている。

・また、2016年の同賞でも、中短編部門を郝景芳の『北京折畳 (Folding Beijing)』が獲得し、世界的に中国発のSF作品が注目を集めています。

写真は、著作権等に配慮し省略します。

『球状閃電』

著者 劉 慈欣

大森 望 訳

出版社 早川書房

# 言情（恋愛）

- ・由来：唐伝奇
- ・民国初期、上海の文人たちは道に迷って退廃して、鴛鴦胡蝶派の成立はロマンス小説の中興となった。1949年頃、鴛鴦胡蝶派の主力は大陸を離れ、香港と台湾に移動した。中国大陸の改革開放後、開放度の高まりにつれ、多くの女性ロマンス読者が育成された。
- ・2000年以降、ネットブームを迎えた。

写真は、著作権等に配慮し省略します。

『何以笙箫默』

著者 顧漫

出版社 瀋陽出版社

# 歴史

- ・由来 史書の中の歴史描写
- ・歴史上の人物や出来事を記述することで、特定の歴史的期間の人生観や歴史的発展傾向を再現する。事実に基づいているが、教科書とは異なり、フィクション化を行う。記述される主要な人物や出来事には歴史的根拠があり、真実とフィクションの統一性を備えている。

写真は、著作権等に配慮し省略します。

『長安十二時辰』

著者 馬 伯庸

出版社 湖南文芸出版社

# 霊異

・ファンタジー・サスペンス・ホラーなど絡み合い、神や幽霊などを題材にして、恐ろしさや超自然的な雰囲気を誇張したり、幻の世界観を表現したりする。

・主に二つの分野があり、一つは主に人間の進化と発展に焦点を当て、超自然的な力・魔術・超能力などについて書き、もう一つは志怪(strange writing)を目的として、怪物やモンスターに関するさまざまな逸話を生き生きと描写する。

写真は、著作権等に配慮し省略します。

『鬼吹灯 1 精絶古城』

著者 天下霸唱

出版社 湖南文艺出版社

# 耽美 (BL)

- ・ 1990 年代に日本の BL から影響を受けて始まった。
- ・ 2000 年代に中国ではネットで小説を投稿する人が増え始め、耽美小説の創作も増えていくことになった。2014 年から中国大陸で制作された耽美ドラマ・映画が登場した。中国の耽美コンテンツは主にインターネット上で生まれ、発展し続けている。

写真は、著作権等に配慮し省略します。

『黙読』

著者 Priest

出版社 北京聯合出版公司

なぜ大衆小説が逆に「主流」になったのか

# 小説とは

- ・ 英: fiction (総称) ,novel (長編) ,story (短編)
- ・ 明確な定義や形式はなく、作者が描きたい人間や社会を自由に散文で表現する文学形態である。ロマンス (空想物語) やノベル (比較的現実性のある物語) など、現代で一般的に小説と呼ばれるものは、フィクション (想像による創作・虚構) と総称され、あくまでも事実を書いていく「ノンフィクション」 (伝記・ルポルタージュ) と区別している。
- ・ 小説は19世紀以降純文学的傾向のものと大衆小説的傾向のものに分類されることが一般的となった。それ以前の小説は、セルバンテスやラブラーがそうであるように芸術性と通俗性を区分することなくひとつの目標として追求することが多かったが、小説の読者がひろがり、技法的な発達を見せるにしたがって、交通整理が行われるようになってくる。各国の事情によって多少の差はあるが、現代文学では両者の傾向を分けて考えるのが一般的である。

# 古典小説

・中国において「小説」という用語が使われ始めたのは、図書目録上でのことだった（『漢書』「芸文志」）。しかもそれは、文学・芸術的な用語として生まれたのではなく、街巷で語られた話や道端で聞いたり言ったりしている者が作り上げたのが小説であるとされ、九流の諸子とは異なり、一ランク下のものと考えられていたことが分かる。

・明代以後、小説の発展は成熟期を迎えた。唐代の伝奇、宋代の話本の伝統を継承し、創作の題材上においては、歴史、怪異、英雄、世情を論ずることなく、すべてを網羅するようになった。明代の通俗小説は、長編と短編の二大潮流に分かれることとなる。長編小説は「四大奇書」を代表とする。短編小説は、馮夢龍、凌濛初編纂の「三言二拍」を代表とする。清代の小説では、「紅樓夢」という中国長編小説の一大傑作が生まれた

# 現代流行小説のまとめ（1）

- ・ 純文学に対して娯楽性が高い小説。しかし、境界線があいまいな定義である。
- ・ 「大衆に喜んでもらえることを目的とした小説」
- ・ 読者目線に立ってわかりやすく物語が進み、面白さを提供してくれ、さらに登場人物の設定もしっかり行われており、深く考えなくても楽しめるのが特徴である。中には現実には起こり得ないファンタジー要素の強い小説もあり、ハラハラドキドキ感が味わえる娯楽として人々を魅了している。

# 現代流行小説のまとめ（2）

思考：

私たちは、いったい大衆小説の中で何を求めているか

また、大衆小説は何かいいか

# 参考文献

目加田，誠． 民國以來中國新文學． 文學研究（14） 69-85， 1935-12-30． 九州文學會

シュ， シンセツ（2018）． 中国における「盗墓小説」の流行と増殖について：『鬼吹灯』の物語構造分析を中心に． 首都大学東京

周， 密（2024）． BLと中国：耽美をめぐる社会情勢と魅力． ひつじ書房

張， 特（2020）． 探究 “玄幻小说”の流行． 異文化交流：言語・文化・歴史・ビジネス / 拓殖大学中国語学科「翻訳研究会」 編（9）， 9-14， 2020-02

皆さんの好きな小説をシェアしましょう！

ご清聴ありがとうございました！